

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）第74回総会 中根外務副大臣ステートメント（案）

（冒頭）

議長，皆様，

まず，インドネシアのスラバヤで発生した爆弾事件等によって，亡くなられた方々及びご遺族の方々に心から哀悼の意を表し，負傷者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに，インドネシア政府及びインドネシア国民に対し連帯の意を表します。

私は，3年前に外務政務官として，第71回総会に首席代表として出席しました。この度，外務副大臣として，再びこの場で挨拶できることをうれしく思います。

（持続可能な開発目標と我が国の取組）

今次総会は「不平等」をテーマとし，「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の効果的実施のための方途について議論することになっています。

「各国内及び各国間の不平等を是正すること」は，SDGsの目標10に位置づけられていますが，「誰一人取り残さない」を理念とするSDGsの17の全てのゴールを達成するためには，不平等を是正し，包摂的な成長を実現するための取組を力強く進めていくことが重要だと考えます。

ESCAP域内では，これまでの著しい経済成長にもかかわらず，国内・域内における社会経済的な発展の格差，すなわち不平等という成長を脅かし個人がその恩恵を享受することを妨げる諸課題に直面しています。誰一人取り残されることなく，成長の果実が地域全体に行き渡ることを確保することが最重要課題です。

その観点から，今次総会が，「不平等」を是正するために多国間主義とフロンティア・テクノロジーに焦点をあてていることは極めて時宜を得たものと考えます。本日は，我が国の不平等の是正に向けた取組についてご紹介します。

(多国間主義の取組)

日本は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」を推進しています。東南アジアは、太平洋とインド洋を繋ぐ結節点に位置しています。我が国はこの地域を中核に、本戦略を推進することでE S C A P域内全体の平和と繁栄を促進していく考えです。

不平等の是正にかかる我が国の取組について、財政面の事例をご紹介します。財政面の不平等を縮小するためには、歳入・歳出両面からのアプローチが必要です。適切な税制とその執行は、累進課税により歳入面での不平等を縮小するとともに、不平等を歳出面から縮小することにもつながります。このことから、我が国は、開発途上国の税の能力構築に必要な技術支援を行うとともに、「税に関する協働のためのプラットフォーム」やアジア開発銀行(A D B)に資金面で貢献しています。また、税制の適切な執行に人材面でも貢献しており、我が国はアジア大洋州地域5か国にJ I C A長期専門家を派遣しているほか、我が国における受入研修も実施しており、今後も途上国の税の能力構築支援に積極的に取り組む所存です。

(結語)

最後に、フロンティア・テクノロジーについて触れたいと思います。科学技術・イノベーション(S T I)は、S D G sを達成するための重要な手段です。国連の「S D G sのためのS T Iに関するマルチステークホルダーのフォーラム(S T Iフォーラム)」は、2016年から毎年N Yで開催されており、来月5日及び6日に開催される第3回目のフォーラムは、我が国がメキシコとともに議長を務める予定です。我が国は、S D G s達成に向け、日本国内のみならず、世界においても、我が国の技術や知見を活用しつつ、積極的に貢献していきたいと思っております。

E S C A P域内において、誰一人取り残されずに、不平等を是正して包摂的な成長を実現するために、E S C A Pを一層活用してい

くことを強く期待しています。

御静聴ありがとうございました。

(了)